

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	これまでの取組状況	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	本事業で達成する目標(アウトカム)	目標の達成度を測る指標	現状の数値	単位の単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析(事業における成果、課題、改善点等)	目標等の公表先
権原市	②学校と地域の課題	その他	保証を中心に取り組みが行われている。小学校では新型コロナウイルス感染症が「5類に認定されたこともあり、夏期休業期間中の学力保障の取組が復活傾向にある。しかし、熱中症対策の観点から実施が難しい。前年度は実績3930名に対して5110名と比較的高い数値設定を行った。その理由は令和7年度からの学校運営協議会制度の全校実施に向けて各学校から地域への発信が強化されていたからである。しかし、実態として暫定数値であるが6027名と大きく想定を超えた。	様々な体験活動のメニュー増設や実施回数を増やす。目標の数値達成には直結しないが、子どもの活動内容について『支援』から『協働』の視点を大切に今ある活動のブラッシュアップをめざす。	放課後子ども教室に参加する児童の数は増えたが、さらに様々な体験活動をさせていきたいと考えている。学校から地域への協力依頼の発信が積極的になっている背景もある。そのため、活動内容の把握等を通して、子どもたちの実態に合った新しい体験活動のメニューを考え、実施する。	地域未来塾等の取組の充実をめざし、子どもたちの「学力」補償につなげる。放課後子ども教室での体験活動を充実させることで子どもたちの体験活動をより活性化させる。これらにより、地域で子どもを育てる体制整備が図られる。	放課後子ども教室への参加延べ人数	6027	人	6100	5113	2 活動の具体例の紹介などを行うことで、放課後子ども教室での多様な体験活動につなげることができた。今後、ボランティアの協力を更に得ることで、持続可能な体験活動、教職員の負担軽減等に繋げたい。	https://www.city.kashihara.nara.jp/soshiki/1049/gvo/mu/5/1/16062.html
権原市	①学校運営上の課題	その他	令和6年度4校のモデル校事業でスタートした学校運営協議会制度を令和7年度は全小中学校で実施する。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るために、学校運営協議会委員の制度へのさらなる理解が必要である。	学校運営協議会委員の研修会を学期に1回を目標に開催する。	本年度3回開催することができた。参加者は第1回27名、第2回18名、第3回16名と参加者が減少傾向であった。アンケート調査では第1回96%、第2回100%、第3回100%と高い満足度を得た。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を図るためには、制度への理解の深化を図る必要があるため、段階的な研修内容での開催を試みる。	学校運営協議会で熟議を行い、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進が図られる。	学校運営協議会の延べ開催回数(3回×21校)	59	その他	59	63	3 すべての市立小中学校に学校運営協議会を設置することができた。今後は研修会を通して学校運営協議会制度の理解を深めることで、事業の充実につなげる。	https://www.city.kashihara.nara.jp/soshiki/1049/gvo/mu/5/1/16062.html

○令和7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

令和7年度の仮申請や本申請の際に設定したものをそのまま記載してください。

※課題の類型1から本年度の目標値までの欄

S

・本年度の実績値

「目標の達成度を測る指標」について、本年度の実績値を記載してください。

・アウトカムの達成度に関する評価

当該年度におけるアウトカムの達成度(課題の解決・改善の進捗度)を5段階で自己評価してください。

【選択肢】

- 05 本年度の目標値を大きく上回り、設定していた課題が解決した
- 04 本年度の目標値を上回り、課題の解決に向けて大きな成果が見られた
- 03 本年度の目標値を達成し、課題の改善が見られた
- 02 本年度の目標値を下回り、取組の工夫・改善が求められる
- 01 本年度の目標値を大きく下回り、取組の根本的な見直し求められる

・事業における成果、課題、改善点等

「アウトカムの達成度に関する評価」に対する分析を行い、その結果を具体的に記載してください。

目標値を達成し、課題の解決・改善が見られた場合は、本事業における成果を具体的に記載するとともに、目標達成のために行った工夫や次年度に向けた改善点を記載してください。

目標値の達成に至らなかった場合は、その要因を具体的に記載するとともに、事業実施上で課題となっていることや次年度に向けた改善点を記載してください。

・目標の公表先